

発行にあたって― 統合報告書のポイント

読者、ステークホルダーの皆さまへ

当社グループでは、統合報告書をステークホルダーの皆さまとの大切なコミュニケーションツールと位置づけています。中期経営計画の2年目となる2026年3月期は、将来のありたい姿の実現に向けた着実な歩みを財務・非財務の両面から報告し、皆さまのご理解を深めていただけるように記載しました。

なお、本報告書は取締役会での審議を経て開示しており、監査法人による監査は受けておりません。

<読者の皆さまの主なご意見と本誌への反映状況>

- 各事業の現状と今後の方向性を知りたい。
「Top Message」の中で、各事業セグメントの方向性について当社のポートフォリオ戦略に沿って解説しています。
- 業績分析のための、より詳細な情報を知りたい。
事業別の戦略製品の業績動向や用途別（包装、輸送機器、情報電子、産業資材、建材・設備その他）、エリア別（日本、北米、アジア、その他）の業績情報を「At a Glance」にて記載しています。
- キャッシュフローの配分など資本政策について知りたい。
「CFO Message」の中で、株主還元方針を中心に、キャッシュフローに関わる実績と今後の方針について解説しています。
- 取締役会での議論のテーマや実効性評価などガバナンス情報を充実させてほしい。
2026年3月期において取締役会で議論された主なテーマや実効性評価を新たに掲載したほか、「社外取締役メッセージ」や「監査等委員会委員長メッセージ」など、コーポレート・ガバナンスに関わる情報の充実を図りました。

より詳細な情報を知りたい方は以下資料を併せてご覧ください。

経営戦略・業績の全体像を知りたい

中期経営計画資料

決算説明会資料

決算短信

個人投資家向けIRセミナー資料

財務状況・法定開示情報を知りたい

有価証券報告書（四半期報告書）

定款

ガバナンス情報について知りたい

コーポレート・ガバナンスに関する報告書

当社の各方針について知りたい

当社グループの各方針

サステナビリティについて知りたい

環境性報告

社会性報告

報告対象範囲

当社グループを対象としています。

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日（2026年3月期）
※ただし、一部事柄については、本対象期間外の活動も含みます。

発行

前回：2025年9月
今回：2026年10月
次回：2027年10月予定

参考ガイドライン

- IFRS財団
「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省
「価値協創ガイダンス2.0」
- GRI (Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- 国際標準化機構
「ISO 26000」(社会的責任に関する手引き)

CONTENTS

大日精化工業について

イントロダクション 理念等 ブランドメッセージ	01
身の周りにある大日精化工業	03
発行にあたって ― 統合報告書のポイント	05
目次	06
Top Message	07
価値創造の歩み	13
価値創造プロセス	15

戦略・技術

価値創造の源泉：3つの強みと顧客との価値共創	17
At a Glance	18
長期ビジョンと本中期経営計画	19
CFO Message	23
特集1 持続的成長に向けた事業構造改革	29
特集2 海外事業戦略 ―グローバル供給体制について―	31
特集3 研究開発体制の強化	33
研究開発	35
セグメント紹介・戦略	37

CSR・ESGの取り組み

サステナビリティに関する考え方	43
サステナビリティのマテリアリティ	44
CSR・ESG活動評価と次期目標	45
環境	
環境マネジメント	47
気候変動への取り組み	49
生物多様性の保全	51
サーキュラーエコノミー推進	52
化学物質管理	53
社会	
品質保証	54
物流	55
サプライヤーとの関わり	56
人権の尊重	57
人財育成・D&I	59
労働安全衛生	62
健康経営	63
ガバナンス	
コーポレート・ガバナンス	65
社外取締役メッセージ	74
監査等委員会委員長メッセージ／監査等委員会報告	77
新執行役員制度への移行および チーフ・オフィサー（CxO）制度の導入	79
役員報酬制度	81
コンプライアンス	83
リスクマネジメント	84
ステークホルダーとの対話	85
株主・投資家との対話	86

DATA

10年間の主要な経営指標等の推移（連結）	87
非財務データ（環境・社会）	89
非財務データ（人事データ）	91
会社概要・グループネットワーク	92
外部評価・株式基本情報	93
第三者保証	94